

甲佐町議会だより



清流

第182号

令和4年(2022)8月15日発行

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 宮川 安明

6月定例会



やっぱり
やなば
よかねえ

6月定例会審議結果	②～④
そこが知りたいQ&A	⑤
一般質問(5人)ここが聞きたい	⑥～⑪
町民の声	⑫

令和4年第2回(6月)定例会

令和4年第2回定例会は、6月10日に開会し、14日まで5日間の審議を行った。

議案審議においては、専決処分の承認、条例の一部改正、令和4年度一般会計補正予算など町長提出の18案件を慎重に審議し、「議案第39号権利の放棄について」は、特別委員会での継続審査とし、その他の案件は原案のとおり承認、可決した。

一般質問には6議員が子育て支援、公共交通対策、公園管理などについて活発な議論を展開した。

審議結果

区分	議案名	審議結果
承認第2号	専決処分の報告及び承認について(税条例等の一部改正)	承認
承認第3号	専決処分の報告及び承認について(国民健康保険税条例の一部改正)	承認 (反対2)
承認第4号	専決処分の報告及び承認について(令和3年度一般会計補正予算)	承認
承認第5号	専決処分の報告及び承認について(令和3年度国民健康保険特別会計補正予算)	承認
承認第6号	専決処分の報告及び承認について(令和3年度介護保険特別会計補正予算)	承認
承認第7号	専決処分の報告及び承認について(令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算)	承認
報告第3号	令和3年度甲佐町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	報告
報告第4号	令和3年度甲佐町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告
報告第5号	令和3年度甲佐町水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告
議案第35号	熊本縣市町村総合事務組合理約の一部変更について	可決
議案第36号	甲佐町企業立地促進条例の制定について	可決 (反対2)
議案第37号	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る甲佐町国民健康保険税の減免の特例に関する条例の制定について	可決
議案第38号	甲佐町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第39号	権利の放棄について	特別委員会 付託
議案第40号	町道の路線認定について(グリーンセンター線)	可決
議案第41号	町道の路線認定について(尾ノ上一丁田線)	可決
議案第42号	町道の路線認定及び廃止について(町道県道八丁線)	可決
議案第43号	令和4年度甲佐町一般会計補正予算(第1号)	可決
陳情第5号	多面的機能支払事業交付金返還に関する陳情について	特別委員会 付託
動議	権利の放棄に関する審査特別委員会の設置について	可決
動議	議会活性化に関する調査特別委員会の設置について	可決

※特別委員会付託とは、議案等について委員会で審査(調査)し、委員会の報告後、議会で採決するもの

専決処分

令和4年3月31日付けで専決処分された条例の一部改正のほか、4件の補正予算について承認した。

甲佐町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴う改正。主な改正は住宅ローン控除の期間延長ほか。

甲佐町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

高所得者層の課税限度額を引き上げる改正。

令和3年度一般会計補正予算

4205万9千円を増額し、総額85億7073万6千円としたもの。主な補正はふるさと納税や交付金、補助金等の歳入の確定に伴う財源内訳の変更及びふるさと甲佐応援基金積立金の増額等。

令和3年度国民健康保険特別会計補正予算

2685万2千円を減額し、総額15億6015万6千円としたもの。主な補正は保険給付費の確定に伴う補正。

令和3年度介護保険特別会計補正予算

6万6千円を減額し、総額16億325万6千円としたもの。主な補正は地域支援事業利用者負担金の確定に伴う補正。

令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算

81万7千円を減額し、総額1億6110万9千円としたもの。歳入歳出の確定に伴う補正。

報告関係

令和3年度一般会計事故繰越し繰越計算書の報告

令和2年度に予算化し、令和3年度に繰り越した林道災害復旧事業が、年度内に事業が終了せず、令和4年度へ予算の繰り越しを行い、事業完了を旨とするもの。

令和3年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

令和3年度に予算化し、年度内に事業が終了せず、令和4年度へ予算の繰り越しを行い、事業完了を旨とするもの。主なものは、新型コロナウイルス感染症対策事業、道路改良事業、災害復旧事業等。

令和3年度水道事業会計予算繰越計算書の報告

令和3年度に予算化し、年度内に事業が終了せず、令和4年度へ予算の繰り越しを行い、事業完了を旨とするもの。幸野橋配水管敷設替工事300万円。

同文議決関係

熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更

組合を組織する団体の名称変更に伴うもの。

条例関係

甲佐町企業立地促進条例

新たに企業用地取得奨励金として上限5000万円を交付し企業誘致及び立地を促進する条例。

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る甲佐町国民健康保険税の減免の特例に関する条例

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対し国民健康保険税の減免を令和3年度に引き続き行うもの。

甲佐町介護保険条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対し介護保険料の減免を令和3年度に引き続き行うもの。

権利の放棄について

多面的機能支払事業補助金返還金に係る債権を放棄するもの。権利の放棄に関する審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査とした。

町道の路線認定について

新たに町道として2路線の認定を行ったもの。グリーンセンター線(大字田口地内)、尾ノ上一町田線(大字上早川、下横田地内)

町道の路線認定及び廃止について

町道県道八丁線の起点側を延長したものの。

予算関係

令和4年度一般会計補正予算(第1号)

1億8933万2千円を増額し、総額71億5812万1千円としたもの。主な補正は、小中学校における新型コロナウイルス感染症対策4826万7千円など新型コロナウイルス感染症対策事業1億4732万円ほか。

陳情

多面的機能支払事業補助金返還に関する陳情について

多面的機能支払事業補助金返還金の未納金並びに延滞金について、返還の免除を求める陳情。権利の放棄に関する審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査とした。

議会活性化に関する調査特別委員会設置について

6月10日の本会議終了後に開催された全員協議会で協議した、議員定数問題を含めた議会の活性化に関し、議員11名の委員で構成する議会活性化に関する特別委員会を設置し、調査をすることの動議が提出され、全会一致で可決された。

なぜ補助金の返還が生じたのか？

国の交付金実施要領で、組織は、「毎年度、総会を開催し、活動の実施方法等を決定すること」、「交付金の適正な執行及び会計経理を行うこと」と規定してあるが、上豊内資源保全会では、「総会の未開催」、「経理上の不適切な処理」が確認されたことにより、補助金の返還が生じた。

動議

権利の放棄に関する審査特別委員会設置について

議案第39号の権利の放棄について、この場での判断は困難であり、様々な経緯等についてさらに調査追及する必要があることから、議員11名の委員で構成する権利の放棄に関する特別委員会を設置して、これに付託して審査をすることの動議が提出され、全会一致で可決された。

特別委員会には、本田新議員、井芹しま子議員、福田謙二議員、宮本修治議員、荒田博議員、佐野安春議員、森田精子議員、鳴瀬美善議員、田中孝義議員、甲斐高士議員、甲斐良二議員、以上11名が選任された。

なお、委員長には福田謙二委員、副委員長には荒田博委員が選任された。

多面的機能支払事業補助金返還金に係る債権の放棄について

多面的機能支払事業補助金とは？

地域資源の適切な保全管理を推進することにより、農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図る目的で、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための地域活動に対し、活動を行う組織に交付する補助金。

町からの提案理由

令和3年3月30日時点での上豊内資源保全会多面的機能支払事業補助金返還金に係る債権の総額は、488万2755円であった。

これまでの返還済額は、令和3年5月19日に157万1021円、令和3年12月14日に31万8000円、令和4年5月19日に23万7662円であり、現在の債権残高は275万6072円である。

この債権の返済責任について、まず資源保全会という組織としての返済責任についてであるが、資源保全

債権についても不当利得請求権により資源保全会が区から回収し、町に全額返金されている。つまり、現在の資源保全会の財産はゼロの状態となっており、これ以上の返還は今後において不可能であるということになっている。

次に、資源保全会の構成員の返済責任である。法人格を取得していないが、総会等の社団としての意思決定組織が備わっており、社団の構成員の個人資産と区別できる社団独自の財産があり、その財産を当該社団が管理しているような団体を権利能力なき社団といい、資源保全会はこれに当たると解される。権利能力なき社団の説明責任形式は有限責任と解釈され、構成員は出資の範囲までしか返済責任は及ばない。

つまり、資源保全会の構成員に出資はないため、返済責任は問えないものと解される。

議会での執行部からの説明及び審議の詳細については、次ページの「そこが知りたいQ&A」で詳細を掲載。

また、多面的機能交付金の一部を区の会計に入金されていたが、その

そこが 知りたい

6月定例会
質疑から

Q & A

上豊内資源保全会多面的
機能支払事業補助金返還
金に係る債権の放棄

執行部からの説明

返済能力の面について

① 資源保全会の財産はゼロであり、今後も返済する能力がない。

② 資源保全会の構成員についての返済責任は問えない。以上の2点から返済能力が不能という判断をした。

悪意性の判断について

① 長寿命化、いわゆるハード事業、農道の舗装等は計画どおりに事業が履行されている。

② 草刈り、泥上げ等の維持向上活動に係る作業日当分については、区に入金されていたが、その金額については返還されている。それ以外の領収書等が不明の金額、いわゆる使途不明金についても、役員の実任において返済が完了している。

③ 構成員に返済責任はないものの、返済のため寄付金を募り返済に充てるなど努力され、誠実な対応がみられる。

以上の3点から悪意性はないと判断した。

※役員で返済のための方法を検討し、寄付金を募るなどの方策を実行したが、これ以上の返済は難しく、町、議会に対し返済義務免除の陳情がなされている。

公益上の必要性について

① 回収の見込みがない債権を町が保有し続けることは、その債権の管理に行政コストを投下し続けることとなり、個々の地域、ひいては町全体の公益上の不利益となる。

② 権利の放棄により、本地域における事業再開が可能となり、本制度の趣旨である国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全や良好な景観の形成などにつながる事業を実施できるため、町全体の公益上非常に有効である判断した。

これらの諸般の事情を総合的に

に考慮した結果、債権の放棄についての議案を提出したものである。

Q 補助金返還額488万2755円の支出内訳は。

A 農道舗装や用水路の布設替え等の長寿命化事業に217万5500円、草刈り泥上げ等の維持向上活動に271万2205円となっている。

Q 補助金の支出の中に、私的流用はなかったのか。

A 帳簿等を検査したが、私的流用は確認されなかった。

Q 実施された工事については、公共性は確保されているのか。

A 農道舗装や用水路の布設替え等を実施されており、その内容について、公共性は確保されていると認識している。

Q 債権を放棄した場合、今後他の地区で同様な問題が発生したら、公平性の観点からどのような対応を考えているのか。

A その際の判断は、その内容に悪意性があったのか、なかったのかといった部分が重要になる。今後、悪意性があると判断される問題が発生した場合、町は強い姿勢で対応していく。

その他、多くの質疑があったが、今後この案件については調査追及していく必要があるとのことから、権利の放棄に関する審査特別委員会を設置する旨の動議が提出された。

権利の放棄に関する審査特別委員会の設置については全会一致で可決され、今後はこの特別委員会に付託して審査することとなった。

子育て支援と少子化対策、 次の一手は

町長 限られた予算の中でも総合的に判断する



鳴瀬 美善 議員

問 町の少子化対策の現状と事業拡充は。

橋本住民生活課長

子ども医療費助成制度の対象者を満15歳までとしたものを、令和4年度から満18歳まで引き上げを行った。「子ども・子育て支援新制度」に基づき、5年間で計画期間とする「甲佐町こどもゆめプラン」を作成し、多様な支援を行っている。

問 子育て支援と少子化対策は人口増対策へも繋がる重要な施策であると考えている。新たな次の一手となる町長の政策としての腹案は。

奥名町長

子育て世帯に対する支援は町長の任期ごとの政策目標の中に掲げながら取り組んでき

た。間接的ではあるが、定住促進についても未就学児一人につき最高10万円の手当も行っている。限られた予算の中でも最大限の効果をあげられるよう総合的に判断していく。

公園の管理と公共トイレの設置について

問 御船町や嘉島町には遊具を備えた子どもが遊べる公園があるが、町には公園の計画はないのか。

荒田地域振興課長

新たな公園の計画はないが、本年度末に完成する総合運動公園を子どもたちの遊び場と考えている。

問 公共トイレと言われるものは町には何カ所あるのか。

荒田地域振興課長

公共トイレとして位置付けているものはないが、公園と一体として利用できるトイレは5カ所ある。

問 公共トイレの建設の予定はないのか。

荒田地域振興課長

新たな計画はないが、国や県の補助事業等により、財源が確保できれば改修していければと思う。

安心・安全な暮らしの実現について

問 防犯カメラの令和5年度以降の計画は。

永井くらし安全推進室長

本年度予算において、8カ所へ設置する予定としている。令和5年度以降は、計画はないが、調査研究を行いながら必要な場所には積極的に設置していく。

問 公用車へのドライブレコーダーの搭載状況は。

北野総務課長

出張用車両や町内を巡回する頻度が高い車両などから、更新時などに合わせて検討していく。

問 困ったとき、いつでも声をかけられる車両として、公用車への防犯ステッカーの掲示の考えは。

北野総務課長

町内を巡回する頻度が高い車両などへの掲示を行いたいが対応を検討していきたい。



ドライブレコーダーが子供を見守る



こちらから全質問を視聴いただけます。

一般質問

中学生の学力向上を

蔵田教育長 教職員の授業力の向上に取り組む



荒田 博 議員

問 学力向上に向けた取組について。

吉岡学校教育課長

全国学力学習状況調査、熊本県の学力調査の結果を精査して、各学校でそれぞれの教科ごとに対策を立て指導方法の工夫改善に生かしている。学習規律の徹底と学習ノートを生かした指導、ICT機器を有効活用した学習、家庭学習の充実、読書活動の推進に取り組んでいる。

問 学力調査の結果本町の状況は。

吉岡学校教育課長

小学校においては、令和3年度の調査では教科平均の学力の定着率は県の平均を上回るか同レベルにある。

また、平成29年度から令和

3年度にかけて大幅な伸びが見られている。中学校においては全教科平均の学力が県平均に及んでいない状況である。

問 小学校において平均を上回る状況で中学校になると平均より下回る結果になる要因は。

吉岡学校教育課長

はつきりと断定できないが、小学校から中学校になると学級担任制から教科担任制になり学習内容の質や量など、一気に難易度が増し、それに付いていけない生徒がいたり、広範囲の多数学区から生徒が集まり、交友関係や学習環境が変化することにより生活習慣が乱れてしまったり、インターネットなどの使用時間の増加などにより家庭学習の時間の減少などが考えられる要因ではないかと思う。

問 このような現状で今後、中学校での学力向上へ向けた取組は。

蔵田教育長

小学校から中学校になって平均値ではあるが伸ばしきれない現状があることは私をはじめ校長や先生方も認識し

ている。

県下学力トップ構想を以前から掲げ全職員が共通理解のもと取り組んでいる。

教職員に語りかける機会がある、その時には学力向上に裏技はない。一人ひとりの持っている一時間、一時間の授業をしつかりと研ぎ澄ましていく

一の方法であり先生方には授業力の向上を求め続けている。さらに子どもたちの学びを

深め未来ではたらく力をつけるためにICT教育の充実、英語教育、読書教育、道徳教育の充実などを柱として取り組んでいる。

学力の3要素として一つは知識と技能、二つ目が思考力・判断力・表現力、三つ目が学びに向かう力や人間性。

なかでも学力向上の原動力といえる学びに向かう力これを子どもたちが持つことが極めて重要であると考えます。

まずは自尊心を持たせ高めること。一人一人が自分の未来を考えて社会的あるいは職業的自立に向けた基盤となる能力や態度を育てていくこと、そして社会の中で自分が何をどのような役割を果たしていくかというようなことを考えながら自分らしい生き方

を実現していくいわゆるキャリア教育、キャリア発達を促す教育の観点が必要であると考える。今後、学校、家庭、教育委員会と連携しながら学びに向かう力を特に中学生には持つてもらえるように働きかけをしていきたい。



ICTを活用した授業風景



こちらから全質問を視聴いただけます。

更新が必要な水道施設の 箇所と時期は

環境衛生課長 遅れている地域から優先的に行う



甲斐 良二 議員

問 現在耐用年数を経過した水道管はどれくらいあるのか。

白石環境衛生課長

創設から50年が経過し老朽化が進み、施設の更新が水道事業の大きな課題。水道管については、総延長約126kmあり、全延長の約37%、46kmが耐用年数を経過している。

問 今後更新が必要な水道施設の箇所とその時期は。

白石環境衛生課長

漏水事故の多い地域については計画的に更新工事を実施してきた。「甲佐町水道事業基本計画」に基づき、収支計画のバランスを図りながら、令和13年度までの長期間で更新を行う。また、耐震化を兼ねた水道管の更新工事については、乙女地区や白旗地区など

更新が遅れている地域から優先的に行いたい。

問 年々人口が減っていくなかで、給水人口や配水量も減少傾向にあると思うが今後の見通しは。

白石環境衛生課長

本町の人口に比例し徐々に給水人口も減っていくと試算される。平成24年以降の10年間で708人減少している。配水量に関しては、ここ数年平行線を維持しているが、給水人口に連動し減少していくと考えられる。

問 今後給水人口減少で収益減や更新施設の増加などで、安定的な事業経営がなされるのか。

白石環境衛生課長

健全な経営基盤を構築するために、令和元年度に34年ぶりに10%の値上げをした。この料金改定により「甲佐町水道事業経営戦略」では計画年度中（R4年度～R13年度）の料金の値上げはしないという見通しである。しかし、燃料費や資材の高騰により、今後さらに費用がかさむことになる。毎年水需要の予測と

収支計画の検証を行いながら安定的な経営を行うことが重要と考える。

やな場支援の具体策について

問 本年度の貸付事業者への指導監督体制は。

荒田地域振興課長

公募するにあたり、貸付条件を示しており、その条件を履行することが基本となる。貸付条件にかかる事業計画を策定して、町の承認を得ることとし、町が指導することができるようになっていく。

問 通年営業における冬季の具体的な支援策は。

荒田地域振興課長

冬季の営業内容の詳細については、これから貸付事業者と協議を進めていく。新型コロナウイルス関連臨時交付金や、やな場再開応援事業を活用し、予算の範囲内で支援していきたいと考える。

問 ふるさと納税の返礼品として、やな場のお食事券を追加するのか。

荒田地域振興課長

ふるさと納税の返礼品とすることは可能。今後、貸付事業者とふるさと納税業務の委託業者と町とで協議を行っていきたいと考える。



商工会で購入できる「やな場食事券」



こちらから全質問を視聴いただけます。

一般質問

県道稲生野甲佐線の改良計画は

建設課長 令和5年度から工事着手予定



福田 謙二 議員

問 県道稲生野甲佐線は、現在、龍野ふれあい広場付近まで改良ができていますが、岩瀬橋から城平橋までの改良計画についてはどのような状況にあるか。

志戸岡建設課長

岩瀬橋から城平橋までの改良については、令和3年度から単県事業として取り組まれることとなった。令和3年度には県道の測量設計に着手され、城平橋までの線形が確定された。令和4年度は、用地補償の調査委託が行われ、6月中には地元説明会が開催される予定となっている。今年度中に用地補償契約が完了すれば、令和5年度から工事に着手される予定となっている。また、県道から大峰地区入り口の町道大峰線の改良工事についても併せて進めていくこ

ととしている。

町営バスの運行状況

問 町営バスの運行状況は。

古閑企画課長

町営バスについては、宮内方面、六谷坂谷線に1日10便、龍野小学校方面の稲生野甲佐線に1日6便、合計で16便運行している。令和3年度の事業実績として、宮内方面、六谷坂谷線が3562人、龍野方面の稲生野甲佐線で1258人、合計で16便の4820人の方が利用されている。また、現在運行している便の中で、1日一番利用者が多い便は、宮内方面、六谷坂谷線の六谷を7時20分に出発する便で、1日最大7名の方がご利用されている。

問 町営バス運行事業の収支状況は。

古閑企画課長

収支状況については、令和3年度の実績として、運賃収入が49万1300円、歳出が運行委託料876万1500円、車検等を含む修繕料が36万6866円、支出合計が950万348円という状況

である。

問 バスの小型化や運行体制の見直しについての検討状況は。

古閑企画課長

昨年度から、利用者の実態や現在のダイヤとの関係、他の公共交通機関との乗り継ぎなどの調査を行っているところである。これまでバス停の増設や路線の拡大、フリー乗降制などの導入など、利便性を向上させる取組みを行ってきた。まずは現状の車体で利便性の向上を図りながら、利用者増につながらないかという検証を行っている。結果として利用者増等につながるければ、車体の小型化をはじめ、運行体制の見直しについて検討していく必要があると考えている。

大福物流硬式野球部への支援

問 大福物流の硬式野球部が、都市対抗野球大会の九州地区予選に出場された。本町のチームということもあり、しっかりと盛り上げていく必要があると考えているが、町はどのように支援策を考えているか。



大福物流硬式野球部

奥名町長

大福物流の硬式野球部については、本町の町章をユニフォームにつけて試合に出場される。周知支援をはじめ、町が所有する施設についての優遇措置等、支援内容について検討していく必要があると考えている。

その他に、「総合運動公園のネーミングライツについて」の質問を行った。



こちらから全質問を視聴いただけます。

暮らしを応援する施策を

古閑企画課長 生活・産業支援の事業実施の準備を進めたい



井芹 しま子 議員

問 物価の高騰を受けて、国の対策が強く求められている中で、本年4月26日、政府は1兆円の予算で新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を創設した。

この対応分について、生活困窮者やひとり親世帯、子育て世帯、農林業などの事業支援について、しっかりと暮らしや事業を支援する施策を求めたい。

古閑企画課長 「コロナ禍における原油価格、物価高騰対応分」については、通常分と合わせ、7876万5000円の配分がされており、国から対象事業として示されている生活支援・産業支援というそれぞれの事業

農業支援について

に活用を図る予定である。出るだけ早く事業を決定し、実施できるように準備を進めていきたい。

問 ロシアによるウクライナ侵略、気候変動などによる食糧問題は深刻だ。物価高騰などによる経営危機を支援する為に町はどのように考えているのか。

古閑企画課長

コロナ禍の影響の長期化により町民の方々の生活や地域経済への影響は依然と続いており、加えて原油価格、物価高騰は暮らしや事業者に大きく影響している。

産業支援としては、農林業や運搬、交通分野の事業者の負担軽減となる事業を構築すべく検討している。

ごみ処理建設について

問 ごみ処理場建設の進捗は。

白石環境衛生課長

令和3年10月に上益城5町と民間事業者による施設整備の協議が開始され、現在環境アセスメントの実施期間とな

り、本年度より4年間をかけて実施する予定となっている。その後、3年間の建設期間となっている。

問 今回の施設は、400トンの焼却能力を持つ、こうした大型の施設は九州管内にあるのか。

白石環境衛生課長

九州管内は調べていないが、400トンを超える施設は県内では熊本市の東部環境工場一つとなっている。

問 民間の産廃施設にどう関与していくのか。

白石環境衛生課長

町と上益城広域連合、県が携わることになる。

甲佐町をはじめとする郡内5町については、民間会社が設立した新会社に出資することを予定している。それによって企業の経営状況、廃棄物の搬入状況、環境モニタリングなど一定の関与が出来ることを目的としている。

上益城広域連合では、建設用地について貸し付けるということで、施設の整備や運営等、民間事業者に任せるのではなく、一定の関与が出来る



こちらから全質問を視聴いただけます。

ようにすることを目的としている。

県については、環境アセスメント・環境影響評価で民間事業者に意見を述べる事が出来る。

問 施設完成後のリサイクル事業の拠点はどうなるのか。

白石環境衛生課長

現在、町内には56か所のリサイクルステーションを設けているが、今後については、5町の取り組みもあるが、分別方法が新たに必要になった場合には今後検討が必要になると考えている。

その他に、「保育園の主食を町で負担出来ないか」についての質問を行った。

一般質問

出生祝い金、第1子からの支給を

奥名町長 限られた予算では困難もある



佐野 安春 議員

問 様々な子育て支援策があるが、出生祝い金について質問する。

県内町村自治体の出生祝い金の支給状況を調べてみた。県内31の町村があるが、出生祝い金を支給している自治体が21と約7割の自治体が支給を行っている。祝い金の額は1万円から50万円まで幅広く支給されている。支給のあり方は、20町村が第1子から支給している。甲佐町だけが第3子からとなっている。美里町は、それまでの第3子以降を、昨年4月から第1子からの支給に変更している。

奥名町長

甲佐町独自でやっていて他町ではやっていない支援策もあるし、また、逆のやり方も

あるというのは十分承知しているが、総合的な考えで判断すべきと思っている。

限られた予算の中で対処すべき問題であるので、なかなか困難な部分もある。



町営バスの充実を

問 昨年12月定例会一般質問で「交通ネットワーク対策について」質問を行った。町からは、バス小型化、運行体制や事前予約制導入など改善策は示されたが、まだ具体化されていない。

「病院への通院や買い物など町営バスが利用できれば大変ありがたい、年金だけの収入でタクシーを利用するのは経済的に厳しい、町営バスの路線延長はできないものか」という町民の声を聞く。

町営バス発足以来、町民の要望などにより路線延長などが幾度となく行われて町民の生活を支えてきた。地域公共交通の本格的な改善策は見通

しとしては必要と思うが、今できる改善策はできないものか。例えば、東寒野地区や下豊内の湯田地区、荒田議員が一般質問で取り上げた上早川地区の路線延長についてはどうか。

古閑企画課長

町営バスの路線延長については、宮内方面六谷坂谷線では、昭和47年に役場から打出まで運行開始し、その後、谷内、本坂谷、六谷まで延長した。

平成9年に路線変更として打出から甲佐岳登山口までのルートを追加した。竜野方面、稲生野甲佐線も同様で、路線延長や一部路線を変更している。新たな路線は、現状の運行体制では無理があり、既存路線の整理や縮小も必要となる。

また、東寒野方面は民間バスが運行されており、難しいと考えている。湯田地区、上早川地区も、道路状況を考えれば少し厳しいものがある。

問 一部自治体が導入している乗合タクシーなどは自治体内を細かく移動し、民間バスの路線と重なる部分はいくつもあると思う。民間バスを支援している町として、民間バ

スには町の実情についての理解を求めてもいいのではないかと。

古閑企画課長

今後も他自治体の導入事例も参考にしつつ町の実情に合致した持続可能な公共交通のあり方を研究していきたい。



町営バス わかあゆ号

その他に、「学童保育の状況と課題」、「ごみの削減について」の質問を行った。



こちらから全質問を視聴いただけます。

町民の声

国指定史跡「陣ノ内城跡」を
活用したまちづくりを

下豊内区 清村 一男

国指定史跡「陣ノ内城跡」が昨年の広報こうさ7月号に特集されました。町民の皆様は広く知っていただけたことができ、大変うれしく、また誇りを持ちました。

陣ノ内城跡を航空写真で初めて見た時の印象は、今も脳裏にあります。ここには何か壮大な歴史があると。それまでは、阿蘇大宮司の館跡として町指定文化財になっていましたが、館とあの広大な堀や土塁は何かイメージが合致せず、疑問を感じていました。

その後の発掘調査等を経て、昨年10月に陣ノ内城跡として国指定史跡となりました。そこには、同時に今後大きな課題が横たわっています。それは、甲佐の財としてどのような史跡を造り上げるかという、それこそ壮大な課題を突き付けられているのです。分かりやすく言えば、観光資源としてどのような構想を描くのかということです。町民の多くの英知が必要となります。

私はその一つ、考えがあります。それは、免の山の西斜面にあった登城道の復活です。昭和47年の大水害で、大部分が崩落して使えなくなっています。機械力は使えませんので、つるはしを使った作業になります。できない作業ではありません。何故道にこだわるのか、それは小西行長時代の土塁を造り上げた人々の姿を体験できるからです。登城道は南側にもあり車で登ることもできますが、狭い道をしかも急斜面の道を登り下りすることが、昔を体験することになります。是非実現してほしいものです。

先日、近所で20数名の方々と出会いました。歴史を研究する人達でした。どこからお出でか尋ねると、九州各県から、遠くは名古屋からの人もいました。情報化の時代ですね。驚きでした。

町民の皆様の議会傍聴をお待ちしています。お気軽にお越しください。



甲佐町

議会だより

第182号

2022年8月15日発行

この議会だより「清流」は再生紙を使用しています。

おめでと〜ございます

永年勤続表彰

宮川 安明 議員
本田 新 議員

3月定例会の開会日に、全国町村議長会並びに熊本県町村議長会からの永年勤続表彰状の伝達が行われた。宮川安明議員は、町村議員として15年以上在職し功労があったとして、全国町村議長会並びに熊本県町村議長会から表彰を受けられた。

本田新議員は、町村議員として23年以上在職し功労があったとして、熊本県町村議長会から表彰を受けられた。



※令和4年第3回（9月）定例会は、9月9日開会の予定です。

編集後記

この夏も猛威を振るう新型コロナウイルス。遂に第7波の到来となった…。

依然見えぬコロナの収束、様々な行動制限と、引き続きの感染症対策でこの夏を乗り切らねばなりません。

そんな中、3年ぶりのやな場のオープン、あゆまつりの開催と明るい話題も出てきた。

やな場においては本年は通年営業を予定されており、年間を通しての観光客や交流人口増への期待が高まる。

ウィズコロナにおいても本町メインの観光施設のやな場の賑わいを切に願うものである。

(甲斐良二)

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 甲斐 高士 |
| 副委員長 | 宮本 修治 |
| 委員 | 佐野 安春 |
| 委員 | 森田 精子 |
| 委員 | 鳴瀬 美善 |
| 委員 | 田中 孝義 |
| 委員 | 甲斐 良二 |